

山口県萩市見島に伝わる「鬼ヨーズ」を、郷土玩具に。
山口ゆめ回廊博覧会のインフォメーションセンター内にある**Select Shop[SELECT YUMEHAKU]**にて7月1日より販売開始。

有限会社中原木材工業(山口県萩市、代表取締役 中原俊昭、以下中原木材)は、山口県萩市見島に古くから伝来する「鬼ヨーズ」をモチーフにした郷土玩具「鬼ヨーズ」を商品開発し、2021年7月1日より12月31日までJR新山口駅北口エリアに期間限定オープンする山口県央連携都市圏域(山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、島根県津和野町)のセレクトアイテムを集めたSelect Shop[SELECT YUMEHAKU]にて販売を開始する事をご案内します。



(商品写真 / 撮影: 谷康弘)

◆商品詳細

販売名: 郷土玩具「鬼ヨーズ」

色: 赤・青・黄 3色展開

発売日: 2021年7月1日(木)

販売価格: 税込1100円

販売先: Select Shop[SELECT YUMEHAKU]、中原木材工業

◆開発の背景

中原木材では、製材過程で生まれる木片や廃材の活用、再生方法を長年模索していました。その中でも素朴ながらいつの時代も暮らしの側に、こどもの側に寄り添ってきた郷土玩具に魅了され、廃材を活用した郷土玩具の商品化の構想を練っていたところ、NPO法人BEPPU PROJECT(大分県別府市、代表理事 山出淳也)より、山口ゆめ回廊博覧会に向けた商品開発のご提案をいただいた事を機に商品化に踏み出しました。

初製作の郷土玩具には、古くから郷土に愛されてきており兼ねてより特に心惹かれていた萩市見島に伝来する揚子(凧)「鬼ヨーズ」をモチーフにしました。

鬼ヨーズは、古来より萩市沖に位置する見島にて長男が生まれると成長の祝福、魔除けとして親類縁者が集まって製作した揚子(凧)で、畳8畳分ほどの大きさです。

正月に揚げるのが習わしで、現在も見島で製作されています。

郷土玩具「鬼ヨーズ」は、高度経済成長期に大量に製材していた電気コタツの木枠廃材を利用し、岩絵具、手漉和紙、萩産の藁を独自に編んだ藁縄など地域にある資源や伝統的な素材を選んで製作しています。



(中原木材にて過去に大量製材していた電気コタツ木枠とその廃材 画像)

◆販売場所詳細

SELECT YUMEHAKU

住所: 〒754-0041 山口市小郡令和1丁目2番6号 JR新山口駅北口2階
新山口駅観光交流センター内

販売期間: 2021年7月1日～12月31日

有限会社中原木材工業

住所: 〒758-0011 萩市椿東378番地

販売期間: 2021年7月1日～

◆本件に関するお問い合わせ先

中原木材工業 担当: 中原知美

電話: 080-6347-3487 、0838-22-3666(代表)

メールアドレス: nakaharamokuzai@gmail.com

〈参考〉

・有限会社 中原木材工業

山口県萩市内にて戦後創業。初代は蒲鉾板の製材、2代目は電気コタツ木枠の大量製材・木材加工業を中心に事業展開。

現3代目はオリジナル家具を中心に、空間、道具のデザインから制作まで一貫した唯一無二なるアイテムの創造、絶えゆく技術の継承、後進の育成など多岐に渡っている。

(現時点での社名は中原木材工業ですが、2021年8月、経営継承を機に社名を「中原木材」へ登記変更予定です。)

URL: <https://www.nakaharamokuzai.com>

・鬼ヨーズ

山口県萩市見島(山口県の最北端に位置しており、萩市沖北北西約45キロメートルの日本海上にある島)で平安時代頃に中国や朝鮮半島から伝来したと伝わる揚子(凧)。長男が誕生した年の冬に親類縁者が集い、共同で畳8畳分ほどの大きさの揚子を製作し、翌正月の風向きの良い日に揚げる。凧をヨーズと呼ぶのも国内でも珍しく、以前は島内に多数製作者がいたが、現在は多田一馬さんのみが製作を継承されている。

参考URL: https://japan-traditional-crafts.com/play/yamaguchi-mishima_oniyozu/

・山口ゆめ回廊博覧会

山口県央連携都市圏域(山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、島根県津和野町)でおこなわれる多様なイベントの集合体。

あわせて美しい伝統・文化や自然、食などを紹介し圏域の魅力を全国に発信する博覧会。

2021年7月1日～2021年12月31日開催。

URL: <https://yumehaku.jp>